

新発売

自分で竹対策ができる！

ぴたっと竹どめシート



商品詳細はコチラ



ぴたっと竹どめシートで **解決**

耐用年数	約10年	遮光率	99.9%以上	透水性	◎
素材・構造		PET不織布(補強基材入)			

どんな竹も突き抜けない竹対策シート！

成長期の竹は非常に強い突き上げ力を持つため、一般的な防草シートではシートを突き破ったり、固定ピンを持ち上げたりすることがあります。

「ぴたっと竹どめシート」は**圧倒的な強度と柔軟性を兼ね備え**、竹の突き上げにも破れることなく**地面の上から竹の子の成長を抑制**します。

さらに、**太く長い特殊形状の竹どめピン**が優れた固定力を発揮し、抜けることなくシートをしっかりと固定します。

設置は**シートを地面に敷き、専用ピンで固定する**簡単作業。

また、**ピンを固定する目安となる印加工付き**で、正確にシートが敷けます。

商品名	規格	価格
ぴたっと竹どめシート	1m×25m	44,550円(税込)
	2m×25m	89,100円(税込)
竹どめピン	100本入	11,000円(税込)
竹どめシール	□10cm×100枚入	8,580円(税込)
竹どめテープ	10cm×25m	17,160円(税込)
接着剤「Dタッチ」	333ml入	2,090円(税込)

例 2m×25mシートを連結せずに敷く場合の参考価格

ぴたっと竹どめシート2m×25m 基本3点セット

シート	2m×25m	89,100円
ピン	200本	22,000円
シール	200枚	17,160円

128,260円(税込)

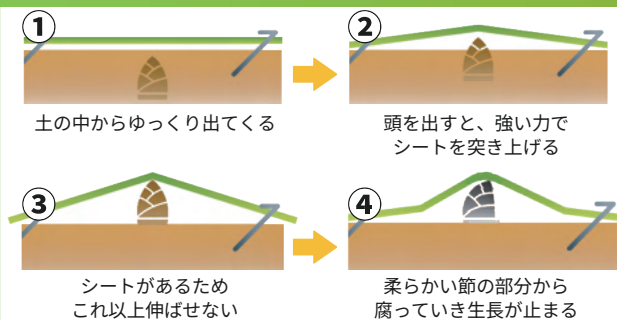
見積もりのご依頼はコチラ



※ぴたっと竹どめシートは、専用副資材の併用が必須です。お客様の現場にあわせてお見積り致しますので、右記の専用フォームからご依頼いただくか下記までお問い合わせください。

※表示価格は、消費税10%込みの価格です。予告なしに変更する場合がございます。

竹の子を抑えこむイメージ



竹の子の出る季節、シートの下を見るとシートに阻まれて倒れ込み徐々に腐っています

竹を確実に抑えるため重要なこと

竹どめ専用の副資材を併用しましょう！

ぴたっと竹どめシートは、専用の副資材と組み合わせることで高い防竹効果を発揮します。

施工の際は、必ず専用副資材を使用ください。

竹専用の副資材



▼ 竹どめシール

▼ 竹どめテープ

▼ 接着剤「Dタッチ」

TEL 0778-62-2545 FAX 0778-42-5245

TEL受付時間 平日9:00~17:00 休業日 土・日・祝 FAX・メールは24時間受付

防草シート専門店 防草シート.com

<https://www.bousou-sheet.com>

防草シートドットコム

検索

(運営) 株式会社白崎コーポレーション 〒916-0076 福井県鯖江市石生谷町11-23



ぴたっと竹どめシートの敷き方

防竹効果を最大限に発揮するには設置方法も大変重要です

1 竹を伐採

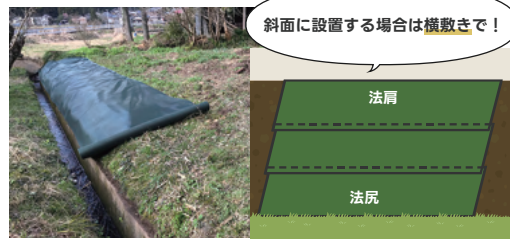
竹や雑木などをひざ丈の高さで切り倒し、地際まで切り下げます。



倒したい方向を決め、自分の方へ倒れてこないよう注意しながらひざ丈の高さで切ります。次に地面と同じ高さまで切り下げます。地面から3cm以下の高さにしましょう。切り株の高さが地面より高いとシートを破損する恐れがあります。

2 ぴたっと竹どめシート設置

シートがだぶつかないように、引っ張りながら広げます。



シートを地面に置き転がして敷くと、シート表面が表に出ます。シートの継ぎ目は、シート重ねを10cm以上設けます。シート端部にU字溝やコンクリート堀など構造物がある時はシートを10cm以上重ねて敷いてください。最終工程で接着剤にて端部処理を行います。斜面に敷く時は横敷きにします。シートの重ねは屋根瓦のように法尻のシートが下になるように敷きます。

4 竹どめシール貼り

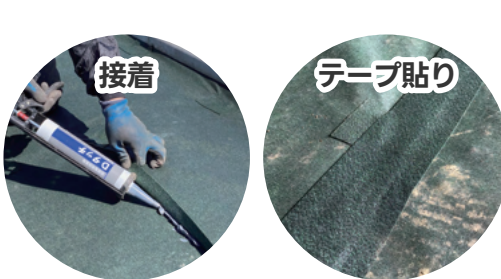
砂埃をはらい、ピン穴を覆うようにシールを貼り付けて圧着します。



ピンの頭部がシールの対角線にくるよう貼ります。シールに浮き上がりのないよう、隙間なく圧着します。防草シートとシールの間の隙間は剥がれの原因になります。

5 シート継ぎ目の接着・テープ貼り

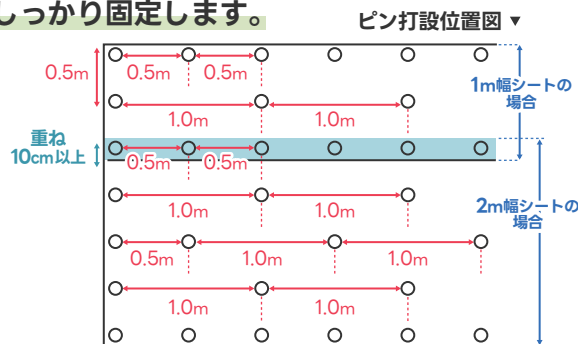
砂埃をはらい、シートの継ぎ目(重ね部)を接着剤で貼り合わせ、テープを貼ります。



接着剤Dタッチを塗布します。(使用目安:10m/本) シートの浮き上がりのないようしっかりと圧着します。次にシートの継ぎ目を覆うように竹どめテープを貼り、しっかりと圧着します。

3 竹どめピン打設

竹の持ち上げでピンが抜けないよう、しっかり固定します。



ピン打設位置図を参考にシート端部とシートの継ぎ目は50cm間隔、シート内側は1m間隔で固定します。シートの継ぎ目は、シート重ね部分を2枚まとめてピンで固定します。

- ① 最初に地面と垂直にピンを立て、シートに下穴を開けます。
- ② 地面とピンの頭部が平行になるようにピンを倒します。
- ③ 角度がズレないように斜めに打ち込みます。

ピンの向きは、右または左方向へ統一しましょう。

※使い方を間違えると竹の突き上げに耐えられず、ピンが抜けてしまいます。打設方法については、動画でより詳しく解説しておりますのでご覧ください。



動画で解説
ピンの打設方法

6 シート端部構造物ギワの接着

砂埃をはらい、接着剤で構造物にシートを貼り付けます。



コンクリート等の構造物がある場合は、ワイヤーブラシ等で構造物の砂埃や苔を丁寧に除去します。接着剤Dタッチを塗布し、(使用目安:10m/本) シートの浮き上がりのないよう圧着します。

完成!

最終確認をして問題がなければ完成!



ピンの打設ミスやシールの貼り忘れ、シールやテープの浮き上がりがなければ確認しましょう。

【4～6共通の注意事項】貼付け部分の砂埃の付着は、剥がれの原因となりますので、砂埃はしっかりと除去しましょう。また、シートや構造物が濡れている場合は、接着力が落ちますので、完全に乾いてから作業しましょう。